



# 藤枝ロータリークラブ会報

通常例会/小杉苑

会長:平野 純也  
副会長:土屋 富士子

幹事:増田 貴行  
副幹事:澤部 小百合/太田 暢裕

## ● 会長報告

平野 純也君

皆さん、こんにちは。

ここ一カ月は、衆議院議員選挙、アメリカ大統領選挙と、選挙の話題が盛り上がり



ましたが、先週の「兵庫県知事選挙」もとても盛り上がった選挙であったと思います。現職知事のパウハラが原因で失職し、出直し選挙により当選、という結果にとっても驚きました。失職した当時のテレビ報道では、パウハラが原因で死者まで出た、とんでもない知事がいるもんだ、と思った方は私だけでは無かったと思います。しかし、その後の選挙活動の中で、特に SNS を中心に様々な情報が拡散され、パウハラが全ての原因ではなかった、という情報もありました。私は、今でも何が真実か分かりませんが、「情報源はどこか」「何が正しいのか」をしっかりと見極める事が大事だと思いました。今後も兵庫県知事の動向に注目していきたいと思います。

さて、先週の例会は、静岡産業大学の小泉地区ガバナーに冠講座の講師をしていただきましたが、ウイステリアホールが満員になり、講義もとても分かりやすくロータリーの話をしてくださいました。そして学生も小泉ガバナーの話のしっかりと耳を傾け、とても好評だったと感じました。小泉ガバナーには、地区大会を終えたばかりの多忙な中、甲府からお越しいただき、大変感謝しております。

さて、11月も後半に入り、朝夕はだいぶ寒くなってきましたが、ロータリーの11月の月間テーマは、「ロータリー財団月間」となります。本日は、国際ロータリー2620地区 ロータリー財団委員会 副委員長の森田英貴様にお越しいただきました。お忙しいところ、ありがとうご

ざいました。

ロータリー財団とは、1917年、国際ロータリーのアーチ C. クランフ会長が、「世界でよいことをするために」基金の設置を提案したことに始まり、1983年に米国イリノイ州に、非営利財団法人となりました。ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

財団は、ロータリー会員をはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の方々からの、自発的な寄付のみによって支えられており、寄付はロータリー財団の補助金となり、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらす活動に役立てられています。

今日は卓話では、「ロータリー財団」についてしっかり学んでいってください。

それでは、本日も例会をお楽しみください。

## ● 理事会報告

増田 貴行君

- ・12.1月例会プログラムが承認されました。
- ・1/8 新年賀詞交歓会について、アトラクション・案内文が承認されました。席次の調整と予算等は12月理事会へ。
- ・11/12 ガバナー冠講座について、承認されました。お弁当&お茶代の予算は、1人1300円へ。
- ・11/20 地区委員卓話について、承認されました。
- ・12/4 クラブ年次総会について、承認されました。
- ・12/11 委員会卓話(保健)について、承認されました。
- ・1/25 地区補助金事業「音楽フェス」について、チラシデザイン・予算が承認されました。ポスター枚数を昨年の半分へ変更となりました。例会時に音楽フェス当日のお花用の募金ボックスを回すこととなりました。

- ・メイクアップ規定・例会出席時間 60%の規定について、メイクアップ規定はクラブ年次総会にて、会員皆様より意見を聞く事となりました。例会出席 60%については、改めて認識していただく事が報告されました。
- ・令和 6 年能登半島豪雨災害のご支援について、例会時に募金ボックスを回すこととなりました。
- ・Pre-PETS のご案内と登録者について、会長 エレクト・次年度幹事の出席が報告されました。
- ・行動計画推進トレーニングセミナーのご案内と登録者について、江崎晴城君がクラブ担当として出席が報告されました。

● **幹事報告** 増田 貴行君

- ・ガバナー事務局より  
カルガリー国際大会案内チラシ、コーディネーターNEWS2024 年 12 月号が届きました。
- ・ロータリー米山記念奨学会より  
ハイライトよねやま Vol. 296 が届きました。

● **出席報告** 松葉 隆夫君

| 本日のホームクラブ<br>出席者 | 前回の補正出席者     |
|------------------|--------------|
| 31/41 75.60%     | 24/41 58.53% |

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 内田君 ○落合君 河森君 ○北島君
- 杉浦君 ○玉木君 ○戸田君 ○西野君
- 松田君 ○村松英君 望月君 ○八木君
- ※○印は欠席連絡あり

(2)メイクアップ者

- 北島毅君 (11/8 静岡日本平)
- 八木晋介君 (11/5 冠講座)

● **ビジター**

国際ローター第 2620 地区  
R 財団委員会 副委員長 森田 英貴君

● **スマイルBOX** 松葉 隆夫君

- ・過日、伊久美の小学校で開催されました伊久美のお茶に関する劇「ジャパントイストーリー」を演出しました娘の記事が 11/19 付静岡新聞に掲載されました。 仲田廣志君

スマイル累計額 33,000円

● **地区委員会卓話**

ロータリー財団  
委員会 副委員長  
森田 英貴君



● **ロータリーの友紹介** 村松 繁君

『ロータリーの友 11 月号紹介』



みなさんこんにちは。  
ロータリーの友紹介の村松です。  
よろしくお願ひします。

11 月はロータリー財団月間および 11 月 5 日を含む 1 週間は、世界インターアクト週間になります

今月はまず、横組みの 19 ページからご覧ください。「雑誌委員会の挑戦」という記事をご紹介します。ロータリーの友を月 1 回紹介する委員会が岡山西南 RC にはあるそうです。「記事に興味は持ってもらえるが、その場でじっくり読むことは難しい。かばんに一度入れてしまえば、再びページをめくる会員は少ない印象がある。」とあります。私もその通りだと思います。岡山西南 RC では 2 つのことに挑戦したそうです。一つはダイジェスト版を作って配布すること。もう一つが会員から体験を発表してもらうこと。だそうです。藤枝 RC では、友の紹介の原稿を次週の報告書に入れていただいていますので、今日だけの情報にしないようになればと思います。では、たて組からあらためて紹介していきます。

財団月間にちなみ、P7 からロータリー財団の紹介記事になります。P9 にはアーチ・クランフが生きた時代が歴史年表とともに記されています。エピソードでは、英国王に拝謁(はいえつ)したアーチ・クランフが英国王にロータリーク

ラブ入会をお勧めした記事が載っています。P12-13 が寄付に関わるグラフが掲載されています。P12 右下の寄付総額 一人当たりの寄付額（国別）トップ5が載っています。お金持ちの国からの寄付額が多いなあと思いました。

その右のグローバル補助金の実施国と援助国のグラフでは、インド・韓国・台湾・アメリカが両方に載っています。

P16 は日本初のインターアクトクラブの記事です。仙台育英学園インターアクトクラブがそれに当たります。顧問教師の今田先生ご自身がインターアクト部の出身だそうです。このようにインターアクト部が育つには、さまざまな方の協力があったことだろうと記事を読んで感じました。

P24 をご覧ください。「私のロータリーのマジック」という特集の中の記事です。「息子のささいなきっかけ」という題になっていますが、交換留学生の募集があり、息子さんに行ってみる？と聞いたことがきっかけで、息子さんは台湾にはまり大学、結婚と進みました。交換留学というマジックの記事でした。

P26-27 あたらしい企画です。「よねやまだより」でエジプト出身のソリマンさんが静岡 RC の奨学生として紹介されています。東海大学海洋学部に通う彼のこと、海洋学部の雰囲気を感じる良い記事だと思います。

P30 からロータリーアットワークの記事です。子供たちへ未来の贈り物と題名がついた冒頭の文章をご紹介します。創立 100 周年プロジェクトとして最先端の科学や医学を紹介するイベントを開催されました。iPS 細胞や手術ロボット HINOTORI を体験できる企画の記事によれば「制作会社に外注することなく、会員が知恵を絞って、汗をかきながら、全て手作りで進めました。」とあり、自力でやったようです。これには驚きました。P38-39 をご覧ください。

エバンストン便りです。

2026-27 年度の RI 会長が韓国のサンクー・ユン氏に決まった記事です。そして、P39 の右上に今後の RI 国際大会の開催予定が載っています。来年の 6 月はカナダ・カルガリーですが次は台湾です。アジアで大変近い地域ですので、是非行ってみたいと思いました。

たてぐみの冒頭の記事に移ります。

津田塾大学学長の高橋裕子さんの講演の要約になります。

津田塾大学の創設者、津田梅子が津田塾大学をなぜ開学したのか？が分かる記事です。津田梅子が渡米したのはなんと 6 歳の時。ほぼ 10 年をホストファミリーで過ごし 17 歳で帰国。クリスチャンになり、日本語よりも英語が得意な女性となって帰国した梅子。その後の苦勞が読み取れる内容です。

講演者の高橋さんは、「やはり若い世代の皆さんには大学院への進学、海外留学を視野に入れてほしい。自分の可能性を常に開き、キャリアパスは長い視野で考えてほしい。」と訴えています。大変、心に響く内容でした。

## 30 年以上 100%出席会員表彰

11 月 10 日（日）地区大会  
YCC 県民文化ホールにて



ソングリーダー…… 森下 敏顯君  
ソング…… それでこそロータリー

## 四つのテスト



## 《11・12月の事務局開局日時》

| 月  | 火               | 水               | 木               | 金  |
|----|-----------------|-----------------|-----------------|----|
| 25 | 26              | 27              | 28              | 29 |
| 閉局 | 10:00～<br>16:00 | 9:30～<br>16:00  | 10:00～<br>16:00 | 閉局 |
| 2  | 3               | 4               | 5               | 6  |
| 閉局 | 10:00～<br>16:00 | 9:30～<br>16:00  | 10:00～<br>16:00 | 閉局 |
| 9  | 10              | 11              | 12              | 13 |
| 閉局 | 10:00～<br>16:00 | 9:30～<br>16:00  | 10:00～<br>16:00 | 閉局 |
| 16 | 17              | 18              | 19              | 20 |
| 閉局 | 10:00～<br>16:00 | 10:00～<br>16:00 | 10:00～<br>16:00 | 閉局 |
| 23 | 24              | 25              | 26              | 27 |
| 閉局 | 10:00～<br>16:00 | 10:00～<br>16:00 | 10:00～<br>16:00 | 閉局 |
| 30 | 31              |                 |                 |    |
|    |                 |                 |                 |    |

※ 開局日時は変更になる場合があります。  
最新の情報には、ホームページでご確認ください。

事務局  
〒426-0037  
藤枝市青木 1-11-10 アクセス 21  
TEL054-647-2300 FAX054-647-2040  
E-mail: club1972@fujieda-rotary.org

(担当/武田 浩英君)